

民生児童委員の負担軽減について

その他の
質問事項

- ▼ 農業公社と森林公社について市長の考え
- ▼ P T A組織との関わりについて

市民派連合
かみじょう もと やす
上條 元康



◆民生児童委員の負担軽減について

問 民生児童委員が地域住民との関係づくり等に積極的に取り組んでいる一方、あて職が多く、精神的負担などを感じている現状があるが、負担軽減などの考えはあるか。

答 あて職については、負担を感じている方もいる状況であり、今後、市内及び区等への調査を実施し、あて職の精査を行う必要があると考えている。

活動における苦勞や悩みの相談窓口は、福祉課やふれあいセンター内のコミュニティソーシャルワーカーが、解決へのアドバイスや関係機関へつなげるなどの支援を行い、心理的負担の軽減を図っている。

市としても、処遇改善など、関係機関とも連携し、国や県へ要望し負担の軽減に努めていく。

(福祉課)



福祉課窓口

◆新工業団地の取組について

問 広丘西通線と新工業団地を相互補完しあう事業として、堅石地籍が適すると思われるが、市の考えはどうか。

答 市内複数の候補地について、実際の開発の可能性を探るための基本調査に取り組む。スピード感を持ち、総合的な検討や社会・経済状況を見極め選定していく。

(市長)

◆要望

都市計画道路等と合わせた工業団地の整備は非常に有効な手段と考える。雇用拡大、人口増加対策の観点からも、早期着工を要望する。

能登の教訓からあらためて地域防災を見直す



市民派連合
しの はら とし ひろ
篠原 敏宏

その他の
質問事項

- ▼ 公文書のデジタルアーカイブ化について
- ▼ 榑川診療所の経営方針について

◆災害廃棄物の処理方針

問 膨大な災害廃棄物の処理に関する災害廃棄物処理計画の有無は。

答 国の指針に基づく塩尻市災害廃棄物処理計画は令和元年に策定済み。この中で、大規模被害が想定される境峠・神谷断層帯地震では本市の平時の約2年分に相当する3万4300トンを見込む。

問 収集場の確保や市内処理、広域連携はどのようなになるのか。

答 地区の臨時集積場から仮置き場の塩尻クリーンセンターと朝日村の最終処分場を集め、資源物を分別して焼却と埋め立て処理に回すことになる。

(生活環境課)

◆福祉避難所の設営は

問 福祉避難所はどのようにに設営されるのか。

答 市内131箇所の指定避難所のうちバリアフリーや車椅子スロープなどがある16施設を福祉避難所とする。

難所に指定している。高齢者や障がい者等要配慮者の状況が必要と判断された場合に設営される。

(危機管理課)

◆榑川地区防災倉庫の整備について

問 新年度予算に計上された榑川地区防災倉庫の概要は。

答 旧榑川支所跡地に、支援物資の受入れ、仕分け、配送等の機能を兼ね備えた鉄骨平屋建て160平方メートルの防災備蓄庫及びかまどベンチなどを備えた防災ひろばの整備を予定している。令和6年度中の完成を見込んでいる。

(危機管理課)



防災倉庫の予定地となる旧榑川支所跡地